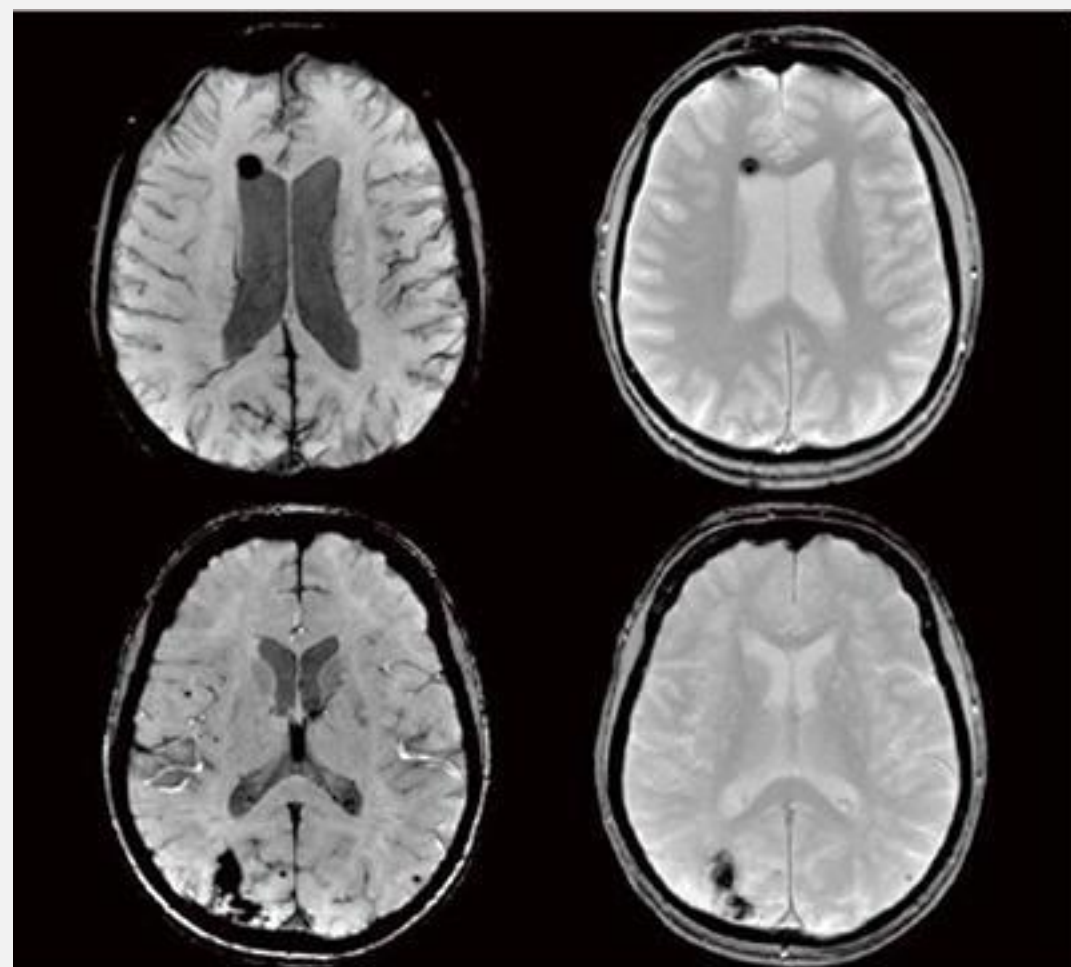


MRI 各種アプリケーションのご紹介

SWAN ～微小出血を描出可能な頭頸部領域アプリケーション～

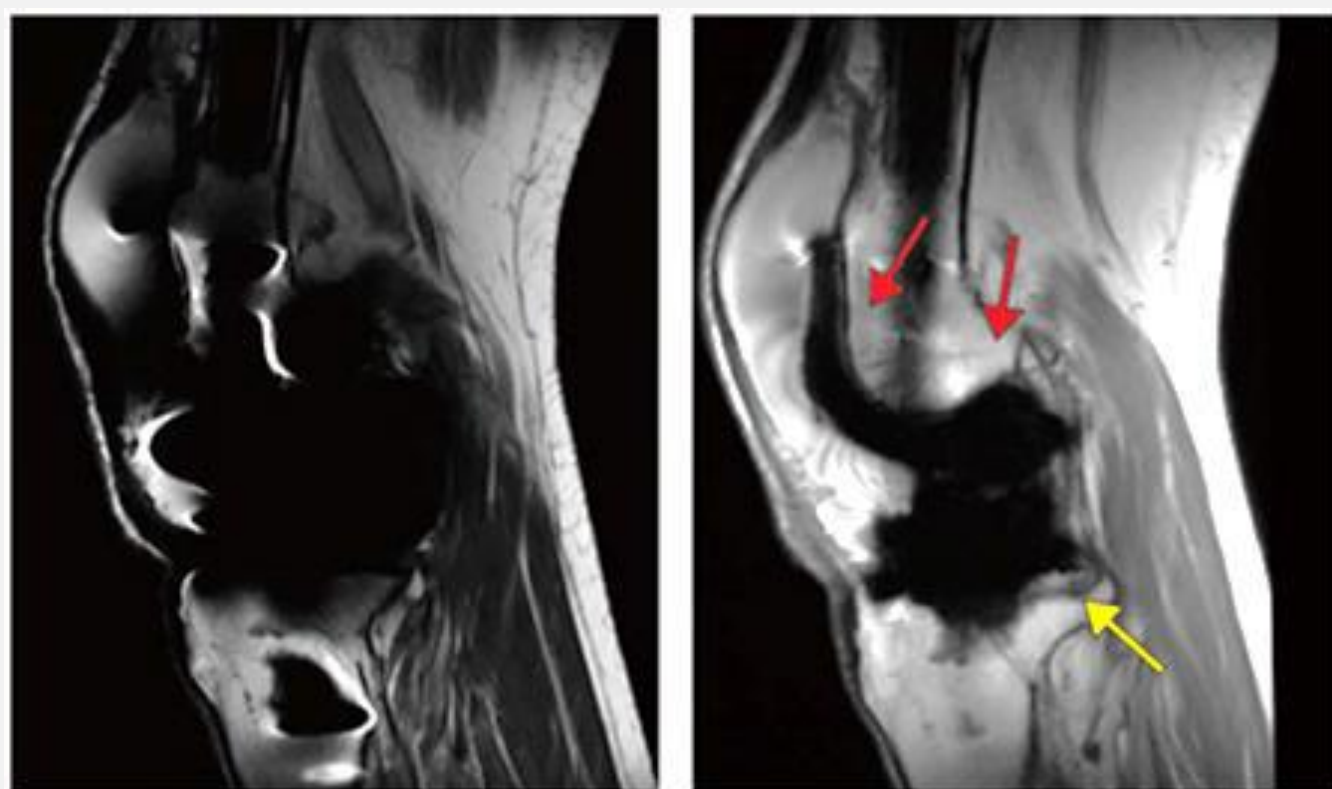
- ・SWAN (T2 Star Weighted MR ANgiography) は、3DのT2*強調像をベースとした撮像法で、BOLD効果（血液中の磁性体により正常な静脈が低信号化する効果）を利用して、従来のT2*強調画像よりも微小な出血性変化を鋭敏に、かつ高画質に得られるのが最大の特徴となっています。
- ・出血性変化のみならず静脈内のデオキシヘモグロビンをも鋭敏に検出することにより、血管系の評価も可能です。
- ・位相差強調画像が同時に作成され、それにより比較的小さな病変に関しては石灰化と血腫の鑑別が可能となっています。



SWAN（左）と2D GREによるT2*強調像（右）

MAVRIC SL ～金属アーチファクトによる歪み低減アプリケーション～

- ・整形領域における金属インプラントによる磁化率アーチファクトを大幅に低減させ、デバイス周辺の軟部組織、および骨の情報を得るためのアプリケーションです。
- ・3D FSE法をベースとした撮像法で、T1強調画像、プロトン密度強調画像、脂肪抑制画像（STIR）に対応しています。
- ・人工関節置換術において、埋め込まれたデバイスのルーズニングやデバイス周辺の炎症の有無、皮質骨の状態など、従来のMRIでは得られなかった情報が得られる可能性があります。



a：従来法 (2D FSE)

b：MAVRIC-SL